

授業科目	臨床実習 4 (理学)	4 学年・前期・12 単位 (540 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	片寄正樹 (保健医療学研究棟 E409 号) e-mail : katayose@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	菅原和広、佐々木健史、岩本えりか、根木亨、青木信裕、戸田創、田代英之		
概要	理学療法教育の最終段階として実施されるもので、「理学療法実務の総合的な臨床学習」を主眼とし、測定・評価に基づいて考察し立案した目標を実現するための理学療法の組み立て方や実践について体験学習する。		
到達目標	1. 評価計画に沿って各種の情報収集と検査・測定手技を正確に手際よく実施できる。 2. 収集したデータを統合・解釈し、問題点を把握して目標を立案できる。 3. 目標を実現するための理学療法プログラムを立案し、実施することができる。		
評価	実習姿勢、学習姿勢、実習報告書、実習報告会における発表内容を総合的に評価する。		
履修上の留意点	3 年次まで全ての専門必修科目を履修すること。		

内 容 ・ 方 法	
実習方法	1. 施設につき、2～4 人で実習を行う。 2. 臨床実習施設にて実習指導者のもと基本的な理学療法評価を実施し、得られたデータをもとに問題点を抽出し、適切な理学療法計画を立案する。 3. 学生が行う課題 1) ケースレポートの作成・提出 2) デイリーノート作成・提出 3) 実習報告会での発表 4. 理学療法学科教員による実習施設での訪問指導 5. 実習後セミナー:実習報告会を中心に、実習で実施した評価に関する討論を行う。
実習期間	1 クール 4 週間の実習を 3 施設で実施し、合計で 12 週間の実習期間とする。
実習場所	大学が指定する実習協力病院
実習時間	原則的に 9:00～18:00 であるが、実習内容、実習施設の就業時間およびスケジュールに従い、週 45 時間の実習時間を確保する。
実習内容	1. 評価計画:担当症例の疾患や障害状況の把握に必要な情報や検査・測定を検討し、データ収集の方法・手順を含めた評価計画を立てる。 2. 情報収集と検査・測定:評価計画に沿って各種の情報収集と検査・測定手技を実施する。 3. 障害の理解:収集したデータを統合・解釈し、表出している障害の要因や構造を理解する。 4. 治療目標:問題点を整理・抽出して、理学療法が応えるべきニーズを把握し、症例の社会的背景を踏まえた総合的な視点から治療目標を考察する。 5. 治療:実習指導者の指導、助言のもと、立案した理学療法計画に沿った理学療法介入を体験学習する。理学療法介入を一定期間実施した後に再評価を行い、対象者の機能状態の変化に照らし合わせて立案した理学療法計画の見直しを実施する。さらに、一連のプロセスを繰り返す。